

第3章 大学（医学部）による支援体制

【現状の説明】

当院は、地域の中核医療機関として、地域医療機関と連携して患者中心の安全で質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かで有能な医療人の育成、新しい医療の研究開発を使命としている。

臨床医学教育の面においては、「良医の育成」を目標とし、クリニカル・クラークシップに基づく医学部卒前臨床教育の場を提供するとともに、大学病院として医学部卒前臨床教育との連携・継続性を重視した初期臨床研修から後期臨床研修を実施している。

また、当院は大学病院として臨床研究においても大きな役割を担っており、新しい病態解析、診断法や治療法の開発、新薬の治験などに取り組み、医学医療の進歩に対応した医療の提供により、地域の医療福祉に貢献している。当院における臨床研究は、医学部・大学院及び総合医学研究所における基礎研究と応用研究の成果を臨床応用することを目的とした部門横断的な共同研究の仕組みによって支援されている。

【点検・評価】

- 1 臨床医学教育における医学部と病院の目標は、建学の精神における「良医の育成」と病院の理念における「人間性豊かで有能な医療人の育成」として共有されており、教職員や患者に周知する努力が払われている。
- 2 卒前教育におけるクリニカル・クラークシップを受け入れる臨床現場における指導、卒後臨床研修における診療科の指導体制について、診療科によって差があること、コメディカルのより積極的な参画など改善の余地があると思われる。
- 3 臨床研究は、治験センターが整備され病院としての治験や臨床研究の受け入れが積極的に行われているが、全国的な治験の減少傾向の中で、受け入れ件数を増やす一層の努力が求められる。
- 4 大学院や研究所と連携した基礎研究の臨床応用へのための寄附講座の設置や企業化モデルが本学でも実現した意義は大きい。

【将来の改善・改革に向けた方策】

- 1 卒前臨床教育の在り方は、卒後に学生が本学で研修を継続するかどうか進路を決定する重要な要素になるところから、医学部と連携して学生の立場に立った十分な指導体制を確立することが必要である。
- 2 臨床研修指導におけるコメディカルの役割を評価し、チーム医療の観点から彼らを参画させる必要がある。
- 3 臨床研究を活性化するためには、臨床現場の医師確保とともに臨床研究奨励のための研究補助施策を充実させるための一層の支援が必要である。
- 4 平成 19 年度に看護学部が設置されることに伴い、看護に係る臨床教育及び臨床研究

に係る全学的な協力・支援体制を整える必要がある。